

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H04071

研究課題名(和文)健康格差是正にむけた新しい公衆衛生マーケティング理論の構築と実践モデルの効果検証

研究課題名(英文)Development of novel public health marketing theory for achieving health equity

研究代表者

近藤 尚己 (Kondo, Naoki)

京都大学・医学研究科・教授

研究者番号：20345705

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,000,000円

研究成果の概要(和文)：健康格差是正に向けて、生活水準や健康意識など、個人や地域の特性を踏まえた健康づくり手法を構築し、健康格差是正に役立てるための「公衆衛生マーケティング」の概念を整理した。実証研究の結果、少額インセンティブで野菜摂取の所得間格差が是正、プロ野球ファン向けアプリ「パ・リーグウォーク」で身体活動を促進、高齢者の集いの場(サロン)への参加の際、参加団体が1種類より2種類以上で大きな介護予防効果、某企業の職域健診を活用したNCD予防活動「健診戦」で高い効果を認めた、などの成果が得られた。実証結果をもとに対象者の属性に応じた介入(precision public health等)の概念をまとめた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

予防・健康づくり政策の新しい介入法やその評価法、対象者の社会背景を踏まえたマーケティングアプローチ、コミュニティの組織化による対応、既存のランダム化比較試験による効果実証の限界、企業経営者を従業員の健康づくりに向けてナッジする枠組み(健康経営におけるアウトカム設定等)の必要性、社会属性による費用対効果の相違の可能性等について、エビデンスをもとに取りまとめて発信した。健康格差を踏まえた新しいパブリックヘルス活動を社会全体で進める際の理論的・実証的エビデンスになると期待している。自治体・日本政府・国連組織からのヒアリングや委員会委員への招へいを受けるなどの貢献をしてきた。

研究成果の概要(英文)：We aimed to create a concept of 'public health marketing' to achieve health equity by building health promotion methods based on individual and regional characteristics, such as standard of living and health awareness. 1) Disparities in vegetable intake between incomes reduced through small monetary incentives; 2) Promotion of physical activity (increased number of steps) with the "Pa-League Walk" app for professional baseball fans; 3) Participation in "kayoino-ba (salons)" for older people: the effect of care prevention was greater for two or more types of participating groups than one type. 4) High effectiveness was observed in the 'kenshin-sen (health check-up championship)', an NCD prevention activity by Hakuholdo DY holdings Inc.. Based on these empirical data, we summarized the concept of such as PRECISION PUBLIC HEALTH.

研究分野：社会疫学・パブリックヘルス

キーワード：健康格差 マーケティング 健康の社会的決定要因 precision public health 社会疫学 ナッジ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

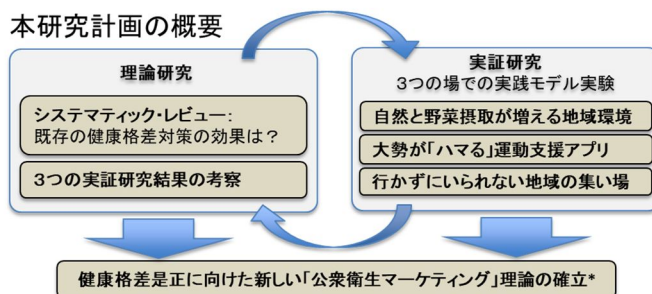
1. 研究開始当初の背景

健康格差は世界的な公衆衛生課題である。これまで、健康格差の是正に向けた地域社会環境への介入モデル構築の研究を進めてくるなかで、効果を上げるには人々の認知行動特性を踏まえたマーケティング戦略が必要であると着想した。特に、社会的ストレスのために健康づくりへの意欲や意識を維持しづらい人々を特定し、それらの人々の特性や興味関心に合った保健施策をデザインして普及させていく等、**社会経済状況による効果の異質性に配慮したマーケティングの重要性**を認識した。例えば、行動経済学には人の認知行動の不合理性を応用して期待する行動を促進する環境介入を意味する「ナッジ」の概念がある。これらを参考に、公正なパブリックヘルス対策を可能とするマーケティング手法を確立すべきとの考えに至った。

2. 研究の目的

本研究では、ナッジ理論等、行動科学のさらなる応用により、パブリックヘルス領域における新しいマーケティングの実装モデルをつくり、地域での実験研究等により効果を検証する。特に、健康格差の是正に向けて、人々の認知行動特性を踏まえた行動変容の戦略やそのデザインの方法を開発する。地域およびオンラインでの実験研究により効果を検証しながら、それらを開発する。そして、これらの経験を踏まえ、健康格差是正に役立てるための新しい「公衆衛生マーケティング」理論の礎とする。

本研究計画の概要



3. 研究の方法

理論研究：既存の行動変容理論・組織行動論等を健康格差是正の観点でレビューする。実証研究成果を踏まえ、体系化する。

実証研究：主に3つのフィールドで実験研究・疑似実験研究を実施する。期間中に発案された追加の実証もする。地域や職域での介入を行い、その全体効果と異質効果（参加者の社会経済状況による効果の違い）あるいは健康格差是正効果を評価する。

4. 研究成果

理論研究：従来のポピュレーション・アプローチを「知識啓発型」「環境改善型」「健康の社会的リスク低減型（貧困対策等）」等に分類し、既存の施策を評価し、レビューによりその効果を検証した。知識啓発型が健康格差を拡大させる可能性がある一方、環境改善型や健康の社会リスク改善型（まちづくり型介入等・加糖飲料やたばこへの課税等）は健康格差を縮小させる可能性が高いことが明らかとなった。知見を踏まえ、対象集団の属性情報に基づくテーラーメイド型介入を意味する precision public health 等の有用性を見だし、その理論的根拠を整理して、複数の論文や書籍を出版した^{1,2}。

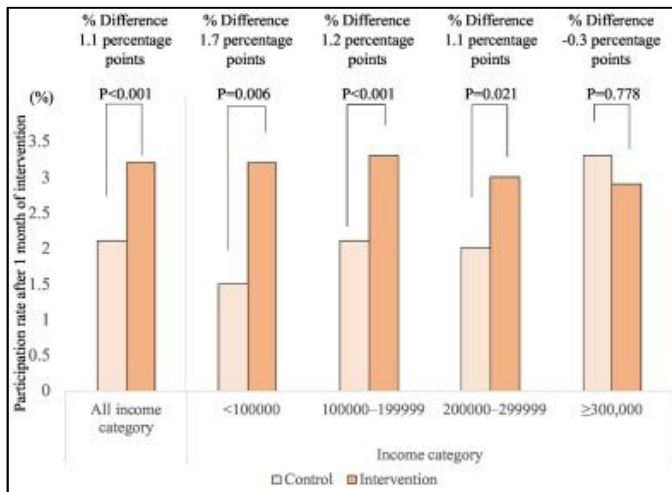
実証研究：

糖尿病の格差解消を目的として某自治体が実施したヘルスプロモーション活動の一環として、同自治体が認定する飲食店で野菜増量メニューをオーダーした際に小額（50円）の返金が得られるインセンティブキャンペーンを行った。これにより、同メニューの注文割合が所得水準と反比例（格差が縮小）する結果が得られた（一連の取り組みが第6回「健康寿命をのばそう！アワード」受賞）³。

某企業と実施した、コミットメント等の行動科学に基づく介入要素を組み合わせたエンターテインメント型健康プログラム「健診戦」で、体重や腹囲が改善し、その効果は特定健診特定保健指導の対象者で高く、職位によらず効果がみられた（第9回「健康寿命をのばそう！アワード」受賞）⁴。

プロ野球パ・リーグのファンを対象とした無料アプリ「パ・リーグウォーク」による身体活動促進ナッジの効果を検証し、同アプリを使用していない対照集団のデータと比較して、アプリ利用者の歩数が増加したことが示された。その効果に社会経済状況による違いは見られなかった（第9回「健康寿命を伸ばそう！アワード」受賞）⁵。

日本老年学的評価研究（JAGES）により、通いの場（ソーシャル・ナッジによる介護予防の取り組み）により 地域活動参加や死亡率の減少が所得水準によらず観察された⁶。



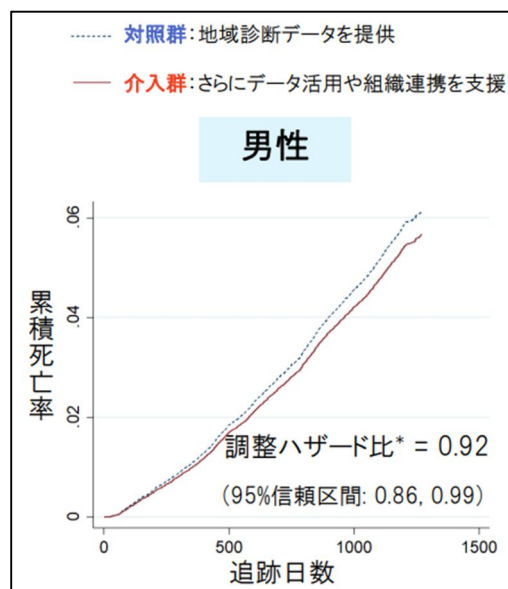
ナッジを活用した特定健診リマインドレター（情報処理負荷を減らしたもの）と通常のレターを用いたもの割り付けたランダム化比較試験により、情報処理負荷の少ない群でより受診率が高くなり、その効果は所得が低い群ほど顕著であった（左図）⁷。

全国 36 自治体を対象として、自治体単位のクラスター化疑似実験を行った。地域診断データのみを提供した自治体に比べて、地域診断データを活用したコミュニティ組織化支援をした自治体では男性のサロン等への参加が増加し、死亡率の減少がみられ、その効果に所得による違

いは見られなかった(右図) 関連する活動で複数自治体が「健康寿命をのばそう！アワード」各賞を複数回受賞)²。WHO からそういった継続的な地域開発のノウハウをまとめた書籍を出版した⁸。

引用文献（主な成果）

1. Ensaff H, Kondo N. Choice Architecture and Nudging for Better Food Choice. In: Evans CE, ed. **Transforming Food Environments**. London: CRC Press; 2022: 344 Pages.
2. Haseda M, Takagi D, Stickley A, Kondo K, Kondo N. Effectiveness of a community organizing intervention on mortality and its equity among older residents in Japan: A JAGES quasi-experimental study. *Health Place* 2022; **74**: 102764.
3. Nagatomo W, Saito J, Kondo N. Effectiveness of a low-value financial-incentive program for increasing vegetable-rich restaurant meal selection and reducing socioeconomic inequality: a cluster crossover trial. *Int J Behav Nutr Phys Act* 2019; **16**(1): 81.
4. Nagata H, Sato K, Haseda M, Kobayashi Y, Kondo N. A novel behavioral science-based health checkup program and subsequent metabolic risk reductions in a workplace: Checkup championship. *Prev Med* 2022; **164**: 107271.
5. Kamada M, Hayashi H, Shiba K, et al. Large-Scale Fandom-based Gamification Intervention to Increase Physical Activity: A Quasi-experimental Study. *Med Sci Sports Exerc* 2022; **54**(1): 181-8.
6. 辻大士, 高木大資, 近藤尚己, et al. 通いの場づくりによる介護予防は地域間の健康格差を是正するか? : 8年間のエコロジカル研究. *日本公衆衛生雑誌* 2022; **383-393**: 383-93.
7. Shimoda A, Saito Y, Kondo N. Postal reminder with reduced burden of clinic information seeking for equitable participation in general health check-ups: A randomized controlled trial. *Prev Med* 2022; **157**: 107009.
8. Katsunori Kondo & Megumi Rosenberg. **Advancing universal health coverage through knowledge translation for healthy ageing- Lessons learnt from the Japan Gerontological Evaluation Study** - National Center for Geriatrics and Gerontology and World Health Organization; 2018.



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計55件（うち査読付論文 39件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 43件）

1. 著者名 Shimoda Akihiro, Saito Yoshiyuki, Kondo Naoki	4. 巻 157
2. 論文標題 Postal reminder with reduced burden of clinic information seeking for equitable participation in general health check-ups: A randomized controlled trial	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 107009 ~ 107009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpmed.2022.107009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Shiba Koichiro, Kawahara Takuya, Aida Jun, Kondo Katsunori, Kondo Naoki, James Peter, Arcaya Mariana, Kawachi Ichiro	4. 巻 190
2. 論文標題 Causal Inference in Studying the Long-Term Health Effects of Disasters: Challenges and Potential Solutions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 1867 ~ 1881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/aje/kwab064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Shimoda A., Saito Y., Ooe C., Kondo N.	4. 巻 195
2. 論文標題 Income-based inequality in nationwide general health checkup participation in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Public Health	6. 最初と最後の頁 112 ~ 117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.puhe.2021.01.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sato Koryu, Kondo Naoki, Murata Chiyoe, Shobugawa Yugo, Saito Kousuke, Kondo Katsunori	4. 巻 -
2. 論文標題 Association of Pneumococcal and Influenza Vaccination With Patient?Physician Communication in Older Adults: A Nationwide Cross-sectional Study From the JAGES 2016	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20200505	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Koryu, Sakata Ryohei, Murayama Chiaki, Yamaguchi Mai, Matsuoka Yoko, Kondo Naoki	4. 巻 78
2. 論文標題 Changes in work and life patterns associated with depressive symptoms during the COVID-19 pandemic: an observational study of health app (<i>CALO mama</i>) users	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Occupational and Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 632 ~ 637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/oemed-2020-106945	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirosaki Mayumi, Ohira Tetsuya, Shirai Kokoro, Kondo Naoki, Aida Jun, Yamamoto Tatsuo, Takeuchi Kenji, Kondo Katsunori	4. 巻 30
2. 論文標題 Association between frequency of laughter and oral health among community-dwelling older adults: a population-based cross-sectional study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quality of Life Research	6. 最初と最後の頁 1561 ~ 1569
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11136-020-02752-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hatakeyama Naoko, Kamada Masamitsu, Kondo Naoki	4. 巻 32
2. 論文標題 Parental Working Hours and Children's Sedentary Time: A Cross-sectional Analysis of the J-SHINE	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 4 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20200170	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki	4. 巻 10
2. 論文標題 Frequent outpatient attendance among people on the governmental welfare programme in Japan: assessing both patient and supplier characteristics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e038663 ~ e038663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-038663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki	4. 巻 12
2. 論文標題 Non financial social determinants of diabetes among public assistance recipients in Japan: A cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 1104 ~ 1111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yazawa Aki, Inoue Yosuke, Kondo Naoki, Miyaguni Yasuhiro, Ojima Toshiyuki, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro	4. 巻 20
2. 論文標題 Accuracy of self reported weight, height and body mass index among older people in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 803 ~ 810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13971	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ukawa Shigekazu, Tamakoshi Akiko, Okada Yutaka, Ito Yoichi M, Taniguchi Rika, Tani Yukako, Sasaki Yuri, Saito Junko, Haseda Maho, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 20
2. 論文標題 Social participation patterns and the incidence of functional disability: The Japan Gerontological Evaluation Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 765 ~ 772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西岡 大輔, 上野 恵子, 舟越 光彦, 斉藤 雅茂, 近藤 尚己	4. 巻 67
2. 論文標題 医療機関で用いる患者の生活困窮評価尺度の開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 461 ~ 470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.7_461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤 尚己	4. 巻 506
2. 論文標題 ナッジ理論を利用した健康づくり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 健康づくり	6. 最初と最後の頁 2~7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 尚己	4. 巻 -
2. 論文標題 共生社会実現のための戦略的な街づくりに向けたデータサイエンス活用術	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020報告書	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Koryu, Amemiya Airi, Haseda Maho, Takagi Daisuke, Kanamori Mariko, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 189
2. 論文標題 Postdisaster Changes in Social Capital and Mental Health: A Natural Experiment From the 2016 Kumamoto Earthquake	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 910~921
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/aje/kwaa041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katikireddi S Vittal, Niedzwiedz Claire L, Dundas Ruth, Kondo Naoki, Leyland Alastair H, Rostila Mikael	4. 巻 49
2. 論文標題 Inequalities in all-cause and cause-specific mortality across the life course by wealth and income in Sweden: a register-based cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 917~925
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ije/dyaa053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Koryu, Ikeda Takaaki, Watanabe Ryota, Kondo Naoki, Kawachi Ichiro, Kondo Katsunori	4. 巻 245
2. 論文標題 Intensity of community-based programs by long-term care insurers and the likelihood of frailty: Multilevel analysis of older Japanese adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 112701 ~ 112701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2019.112701	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Koryu, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 19
2. 論文標題 Rotating savings and credit association, its members' diversity, and higher level functional capacity: A 3 year prospective study from the Japan Gerontological Evaluation Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1268 ~ 1274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13798	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirai Hiroshi, Ichikawa Masao, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 -
2. 論文標題 The Risk of Functional Limitations After Driving Cessation Among Older Japanese Adults: The JAGES Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagatomo Wataru, Saito Junko, Kondo Naoki	4. 巻 16
2. 論文標題 Effectiveness of a low-value financial-incentive program for increasing vegetable-rich restaurant meal selection and reducing socioeconomic inequality: a cluster crossover trial	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12966-019-0830-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haseda Maho, Takagi Daisuke, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 240
2. 論文標題 Effectiveness of community organizing interventions on social activities among older residents in Japan: A JAGES quasi-experimental study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 112527 ~ 112527
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2019.112527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Junko, Haseda Maho, Amemiya Airi, Takagi Daisuke, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 97
2. 論文標題 Community-based care for healthy ageing: lessons from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bulletin of the World Health Organization	6. 最初と最後の頁 570 ~ 574
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2471/BLT.18.223057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokomichi Hiroshi, Kondo Katsunori, Nagamine Yuiko, Yamagata Zentaro, Kondo Naoki	4. 巻 11
2. 論文標題 Dementia risk by combinations of metabolic diseases and body mass index: Japan Gerontological Evaluation Study Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 206 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13103	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanamori Mariko, Kondo Naoki	4. 巻 50
2. 論文標題 Suicide and Types of Agriculture: A Time Series Analysis in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Suicide and Life-Threatening Behavior	6. 最初と最後の頁 122 ~ 137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sltb.12559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Masashige, Aida Jun, Kondo Naoki, Saito Junko, Kato Hiroataka, Ota Yasuhiro, Amemiya Airi, Kondo Katsunori	4. 巻 9
2. 論文標題 Reduced long-term care cost by social participation among older Japanese adults: a prospective follow-up study in JAGES	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e024439 ~ e024439
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2018-024439	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amemiya Airi, Kondo Naoki, Saito Junko, Saito Masashige, Takagi Daisuke, Haseda Maho, Tani Yukako, Kondo Katsunori	4. 巻 19
2. 論文標題 Socioeconomic status and improvement in functional ability among older adults in Japan: a longitudinal study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-019-6531-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amemiya Airi, Saito Junko, Saito Masashige, Takagi Daisuke, Haseda Maho, Tani Yukako, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 16
2. 論文標題 Social Capital and the Improvement in Functional Ability among Older People in Japan: A Multilevel Survival Analysis Using JAGES Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1310 ~ 1310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16081310	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Masashige, Kondo Naoki, Oshio Takashi, Tabuchi Takahiro, Kondo Katsunori	4. 巻 16
2. 論文標題 Relative Deprivation, Poverty, and Mortality in Japanese Older Adults: A Six-Year Follow-Up of the JAGES Cohort Survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 182 ~ 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16020182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 271(10)
2. 論文標題 環境改善による健康格差対策の類型とその実践 - 医療に求められる “ 社会的処方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ2019	6. 最初と最後の頁 1165 ~ 1170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡大輔, 近藤尚己	4. 巻 101(11)
2. 論文標題 経済的に困窮している患者に医療機関ができることは? - 生活困窮者の健康や受信行動, 社会背景の実態に関する研究より	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療 2019	6. 最初と最後の頁 1322 ~ 1325
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 斎藤民, 近藤尚己	4. 巻 75(10)
2. 論文標題 高齢化する大規模団地での保健活動.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 保健師ジャーナル 2019	6. 最初と最後の頁 816-821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1664201280	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金洪稷, 樋野公宏, 薄井宏行, 花里真道, 高木大資, 近藤尚己, 近藤克則.	4. 巻 54
2. 論文標題 高齢者の趣味活動・スポーツ参加と近隣施設密度の関係-名古屋市におけるJAGESのパネルデータを用いて. (The relationship between participation of older adults in hobby clubs and sports groups and density of neighborhood facilities - A case of Nagoya City using JAGES panel data).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1490-1495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayashi Hana, Tan Andy S.L., Kawachi Ichiro, Ishikawa Yoshiki, Kondo Katsunori, Kondo Naoki, Tsuboya Toru, Viswanath Kasisomayajula	4. 巻 -
2. 論文標題 Interpersonal Diffusion of Health Information: Health Information Mavenism among People Age 65 and over in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Health Communication	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10410236.2019.1593078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Koryu, Viswanath Kasisomayajula, Hayashi Hana, Ishikawa Yoshiki, Kondo Katsunori, Shirai Kokoro, Kondo Naoki, Nakagawa Keisuke, Kawachi Ichiro	4. 巻 221
2. 論文標題 Association between exposure to health information and mortality: Reduced mortality among women exposed to information via TV programs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 124~131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2018.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tani Yukako, Suzuki Norimichi, Fujiwara Takeo, Hanazato Masamichi, Kondo Naoki, Miyaguni Yasuhiro, Kondo Katsunori	4. 巻 15
2. 論文標題 Neighborhood food environment and mortality among older Japanese adults: results from the JAGES cohort study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12966-018-0732-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi Michiyo, Suzuki Kayo, Ashida Toyo, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 30
2. 論文標題 Social Support and Access to Health Care Among Older People in Japan: Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asia Pacific Journal of Public Health	6. 最初と最後の頁 425~436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1010539518786516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Taishi, Kondo Katsunori, Kondo Naoki, Aida Jun, Takagi Daisuke	4. 巻 18
2. 論文標題 Development of a risk assessment scale predicting incident functional disability among older people: Japan Gerontological Evaluation Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1433 ~ 1438
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honjo Kaori, Tani Yukako, Saito Masashige, Sasaki Yuri, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro, Kondo Naoki	4. 巻 28
2. 論文標題 Living Alone or With Others and Depressive Symptoms, and Effect Modification by Residential Social Cohesion Among Older Adults in Japan: The JAGES Longitudinal Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 315 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20170065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kondo Naoki, Ishikawa Yoshiki	4. 巻 72
2. 論文標題 Affective stimuli in behavioural interventions soliciting for health check-up services and the service users' socioeconomic statuses: a study at Japanese pachinko parlours	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology and Community Health	6. 最初と最後の頁 e1 ~ e1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jech-2017-209943	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Tami, Kondo Naoki, Shiba Koichiro, Murata Chiyoe, Kondo Katsunori	4. 巻 13
2. 論文標題 Income-based inequalities in caregiving time and depressive symptoms among older family caregivers under the Japanese long-term care insurance system: A cross-sectional analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0194919 ~ 0194919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0194919	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tani Yukako, Kondo Naoki, Noma Hisashi, Miyaguni Yasuhiro, Saito Masashige, Kondo Katsunori	4. 巻 -
2. 論文標題 Eating Alone Yet Living With Others Is Associated With Mortality in Older Men: The JAGES Cohort Survey	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journals of Gerontology Series B: Psychological Sciences and Social Sciences	6. 最初と最後の頁 gbw211 ~ gbw211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/geronb/gbw211	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imai Yurika, Nagai Masato, Ohira Tetsuya, Shirai Kokoro, Kondo Naoki, Kondo Katsunori	4. 巻 8
2. 論文標題 Impact of social relationships on income?laughter relationships among older people: the JAGES cross-sectional study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e019104 ~ e019104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2017-019104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zaitzu Masayoshi, Kawachi Ichiro, Ashida Toyo, Kondo Katsunori, Kondo Naoki	4. 巻 28
2. 論文標題 Participation in Community Group Activities Among Older Adults: Is Diversity of Group Membership Associated With Better Self-rated Health?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 452 ~ 457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20170152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haseda Maho, Kondo Naoki, Takagi Daisuke, Kondo Katsunori	4. 巻 52
2. 論文標題 Community social capital and inequality in depressive symptoms among older Japanese adults: A multilevel study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Health & Place	6. 最初と最後の頁 8 ~ 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.healthplace.2018.04.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 101(11)
2. 論文標題 貧困を治療する - 医師が貧困に取り組む意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 治療 2019	6. 最初と最後の頁 1274-1277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 74(8)
2. 論文標題 貧困・孤立を“治療”する - 「社会的処方のはなし」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 保険診療2019	6. 最初と最後の頁 37-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤峰嘉, 近藤尚己監修.	4. 巻 2019-2
2. 論文標題 ドクターSの診療ファイル Part2 SDHから探る、患者に隠れた健康問題とは? Case 5 救急室の高齢患者に潜むSDH,	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 レジデントノート	6. 最初と最後の頁 pp2825-2830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 2018年11.12月号合併号No.342
2. 論文標題 働き方と健康格差 - 社会疫学の知見より - .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第31回連合総研フォーラム・連合総研レポートD10.	6. 最初と最後の頁 pp33-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西岡大輔・近藤尚己.	4. 巻 No.1, 2018
2. 論文標題 特別寄稿・医療機関における患者の社会的リスクへの対応：social prescribingの動向を参考にした課題整理.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療経済研究Vol.30	6. 最初と最後の頁 pp.5-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡本真希・近藤尚己監修.	4. 巻 2018-12
2. 論文標題 ドクターSの診療ファイル Part2 SDHから探る、患者に隠れた健康問題とは? Case 3 治らない高血圧 ~夜勤というSDHに潜む罠~,	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 レジデントノート	6. 最初と最後の頁 pp2276-2282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田綾子・近藤尚己監修.	4. 巻 2018-10
2. 論文標題 ドクターSの診療ファイル Part2 SDHから探る、患者に隠れた健康問題とは? Case 1 SDHから考える本当の禁煙支援とは,	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 レジデントノート	6. 最初と最後の頁 pp1752-1757
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 July 2018 No.118
2. 論文標題 健康経営の本質は「健康の押し売り」ではない.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本政策金融公庫調査月報	6. 最初と最後の頁 pp2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 2018 Vol.26 特別号
2. 論文標題 健康格差対策の進め方：社会疫学から健康教育学への提案.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本健康教育学会誌	6. 最初と最後の頁 pp22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 第27巻第2号
2. 論文標題 健康格差対策としてのまちづくり.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aging & Health 夏 No.86	6. 最初と最後の頁 pp22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤尚己	4. 巻 Vol.10
2. 論文標題 貧困と社会的排除、そして格差 Poverty, social exclusion, and disparities.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Consortium for General Medicine Teachers	6. 最初と最後の頁 pp71-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計20件 (うち招待講演 9件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 Okuzono SS, Lee HH, Shirai K, Kondo N, Kawachi I, Kubzansky LD
2. 発表標題 optimism, ikigai, and lifespan among Japanese older adults
3. 学会等名 78th Annual Scientific Meeting on Achieving Health Equity - Opportunities for Psychosomatic Science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西尾 麻里沙, 高木 大資, 篠崎 智大, 近藤 尚己.
2. 発表標題 地域の社会的ネットワーク・個人の社会参加・食行動の関連 非線形構造方程式モデルを用いた媒介分析
3. 学会等名 第31回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木野志保, 西岡大輔, 上野恵子, 近藤尚己
2. 発表標題 高レベルADL, 社会資本, および出発する公共支援プログラム
3. 学会等名 第31回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (International conference) Presenter, "Community-Based Integrated Care Japan PHC approach toward equitable healthy ageing society.
3. 学会等名 Asian University Alliance Conference(Chulalongkorn University, Bangkok.) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (口頭発表) インセンティブ等を用いた食選択支援の可能性と課題: 足立区の事業評価の事例より
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム(高知会館)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (座長)「生活困窮世帯およびその子どもへの健康支援のあり方」
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム(高知市文化プラザかるぼーと)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 Webinar(世界同時開催のオンラインセミナー) Speaker, Socioeconomic Inequalities Achieving health equity via community organizing: two real-world intervention studies in Japan.
3. 学会等名 ISBNPA Webinar SIG (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (International conference) Presenter, "Community-Based Integrated Care Japan PHC approach toward equitable healthy ageing society.
3. 学会等名 Asian University Alliance Conference(Chulalongkorn University, Bangkok.) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (Symposium) Chair, 健康の社会的決定要因への対応:プライマリ・ケアにおける実践
3. 学会等名 WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019(Kyoto, Japan.)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (Seminar) Why Japanese live long ? Understanding social determinants of health and taking actions toward health equity,
3. 学会等名 JENESYS 2018(Tokyo , Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (Symposium) Making healthy and equitable communities for older adults in Japan: Lessons from Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES).
3. 学会等名 In “ Forever Young? Sustainable and Healthy Longevity through Science and Technology ”, 8th International Conference of Young Scientists & Annual General Meeting of the Global Young Academy. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (Symposium) Health Inequality in Japan in the Era of Population Ageing: Challenges and Recent Actions.
3. 学会等名 In The Harvard Takemi International Health Program the 35th anniversary memorial Forum.(Tokyo, Japan.) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 パネリスト「共生社会実現のための戦略的な街づくりに向けたデータサイエンス活用術」
3. 学会等名 スポーツ庁主催 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020(松江しんじ湖温泉ホテル一畑) (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 教育講演「思わず栄養が“ええよう”になる行動戦略: 社会疫学からの提案」
3. 学会等名 第65回日本栄養改善学会学術総会(新潟市朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 特別講演「健康格差対策の進め方: 社会疫学から健康教育学への提案」
3. 学会等名 第27回日本健康教育学会学術大会(姫路市市民会館)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 講演「健康格差の現状と対策: 職域への応用」
3. 学会等名 第91回日本産業衛生学会 メインシンポジウム2 健康格差- 職域における社会的処方の可能性(熊本市市民会館)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤尚己
2. 発表標題 (口頭発表) インセンティブ等を用いた食選択支援の可能性と課題: 足立区の事業評価の事例より
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム(高知会館)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 雨宮愛理、近藤尚己、長谷田真帆、西岡大輔、近藤克則.
2. 発表標題 (口頭発表) 地域のソーシャル・キャピタルと高齢者の要介護度改善の関連：JAGES コホート研究(地域ケアネットワーク賞(研究部門)ならびにプレゼンテーションアワード受賞)
3. 学会等名 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(三重)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡大輔, 近藤尚己.
2. 発表標題 (口頭発表) 社会的処方事例と効果に関する系統的レビュー - : 普及に向けた課題整理(プレゼンテーションアワード受賞)
3. 学会等名 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(三重)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kamada M
2. 発表標題 Population strategies for promoting physical activity: social marketing and gamification techniques.
3. 学会等名 International Conference on Kinesiology
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 1.安藤崇之, 奥村圭子, 近藤尚己, 後藤励, 鈴木佳奈子, 長嶺由以子, 西岡大輔, 堀田總子, 三谷慶, 村井邦彦, 吉江悟	4. 発行年 2020年
2. 出版社 人とまちづくり研究所	5. 総ページ数 167
3. 書名 高齢者の社会的リスクに関する基礎的調査研究事業 : 報告書	

1. 著者名 近藤尚己.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 5
3. 書名 第1章 共通認識の形成期・コラム「思わず参加したくなる仕掛けづくりー行動科学を学んでみませんかー. In: 近藤克則, ed. 住民主体の楽しい「通いの場」づくり 「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド.	

1. 著者名 Kondo K, Rosenberg M, Kondo N, Cable N.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Kobe: World Health Organization	5. 総ページ数 -
3. 書名 Advancing universal health coverage through knowledge translation for healthy ageing: Lessons learnt from the Japan Gerontological Evaluation Study. In: Kondo K, Rosenberg M, eds.	

1. 著者名 Tomoki Nakaya, Keisuke Fukui, Yuri Ito, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, Naoki Kondo, Kazumasa Hanaoka, Yoshikazu Nishino, Seiki Kanemura, Ryoza Matsuda, Shigeru Inoue, Hiroyuki Kikuchi, Takahiro Tabuchi, Mayuko Yonejima, Tomoya Hanibuchi.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 -
3. 書名 The Atlas of Health Inequalities in Japan.	

1. 著者名 近藤尚己	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 5
3. 書名 共通認識の形成期・コラム「思わず参加したくなる仕掛けづくりー行動科学を学んでみませんかー. In: 近藤克則, ed. 住民主体の楽しい「通いの場」づくり 「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド.	

1. 著者名 Kondo K, Rosenberg M, Kondo N, Cable N.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 World Health Organization	5. 総ページ数 -
3. 書名 Advancing universal health coverage through knowledge translation for healthy ageing: Lessons learnt from the Japan Gerontological Evaluation Study. In: Kondo K, Rosenberg M, eds.	

1. 著者名 近藤尚己.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京: 東京図書	5. 総ページ数 8
3. 書名 第3章 後悔しない事業計画 成果発信しよう・コラム「健康格差に立ち向かう保健活動」. In: 中板育美, ed. これで使える! 保健師のためのデータ活用ブック.	

1. 著者名 Sakamoto H RM, Nomura S, Okamoto E, Koike S, Yasunaga H et al.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 World Health Organization, Regional Office for South-East Asia	5. 総ページ数 1
3. 書名 Japan Health System Review Vol 8 No 1.	

1. 著者名 近藤尚己.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京: 大修館書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 健康格差を見据えたヘルスプロモーション戦略. 江口泰正、中田由夫編. 『職場における身体活動・運動指導の進め方』	

1. 著者名 Kamada M	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Elite sport and population physical activity	5. 総ページ数 -
3. 書名 Routledge Encyclopedia of Sport Studies	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	近藤 克則 (Kondo Katsunori) (20298558)	千葉大学・予防医学センター・教授 (12501)	
研究分担者	鎌田 真光 (Kamada Masamitsu) (60523090)	東京大学・大学院医学系研究科(医学部)・講師 (12601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------